

スポーツ振興課の主な事業の取組状況と今後の取組について

【あいちスポーツコミッションの取組について】

スポーツ大会を招致、育成し、地域活性化につながる取組を進めるため、県内市町村、スポーツ関連団体、マスメディア、大学、企業等と連携する仕組みとして「あいちスポーツコミッション」を設置し、地域の関係者が一体となり取組を推進。

1 フリーマガジン・Webサイト・SNSによる情報発信

＜フリーマガジン「aispo!」＞

- ・県内で開催されるスポーツ大会やプロスポーツチーム・実業団チームの活動などを紹介
- ・年4回の発刊で、県内の名鉄主要各駅、スポーツ施設やスポーツショップ等で配布



フリーマガジン「aispo!」

＜Webサイト・SNS＞

- ・県内のスポーツ大会情報やプロスポーツチーム・実業団チームの情報を発信
- ・Facebook, Twitter, Instagram でリアルタイムに配信
- ・スポーツ大会の現地レポートやフリーマガジン「aispo!」と連動した記事をwebに掲載



Webサイト「aispo!Web!」

2 プロスポーツチーム等との連携

県内に本拠地を置くプロスポーツチーム、実業団チームと連携し、スポーツ振興や地域課題の解決に向けた様々な取組を推進。

＜2022年度の主な取組＞

(愛知県庁本庁舎公開イベント)

本庁舎正面玄関前にて、トヨタヴェルブリッツ及び豊田自動織機シャトルズ愛知の選手によるトークショーやラグビー体験教室、コラボ缶バッジ作り体験等のイベントを実施。



本庁舎公開イベントの様子

(スポーツによる地域共創)

オアシス21に設置された、スポーツによるまちづくり拠点「DOLPHINS PORT」において、名古屋ダイヤモンドドルフィンズと愛知県、名古屋市、名古屋商工会議所等が地域共創プラットフォームワーキンググループを組成し、地域社会の課題解決や活性化を目指す取組を推進。

(親子観戦企画の実施)

中日ドラゴンズ、名古屋グランパス、トヨタヴェルブリッツ等と、県内の小中学生やその保護者等を対象とした観戦企画を実施。



観戦企画PRポスター

3 第4回世界弓道大会について

2024年2月に第4回世界弓道大会を日本ガイシホール（名古屋市南区）で開催することを決定。

共催として大会の盛り上げに関わるほか、大会を活かし、武家文化ゆかりの観光資源や伝統的工芸品、抹茶などの愛知の魅力を、大会参加者を通じて世界に発信し、地域の活性化に寄与。

<大会概要>

名称：第4回世界弓道大会

（国際弓道連盟加盟団体による団体競技及び個人競技を実施）

日程：2024年2月29日（木）

場所：日本ガイシホール

主催：国際弓道連盟

共催：公益財団法人全日本弓道連盟、愛知県、名古屋市

※大会に併せて、2月26日（月）～28日（水）、3月1日（金）～4日（月）にセミナー及び昇段審査を実施

<開催実績>

第1回 2010年 東京

第2回 2014年 パリ

第3回 2018年 東京

参加実績（第3回大会）

団体競技：20か国・地域

個人競技：34か国・地域・団体より881名



【スポーツ大会を活用した地域振興について】

1 奥三河パワートレイル

林道・砂利道・登山道などの未舗装路を走るトレイルランニング大会。アップダウンが厳しい本格的な中距離レースで、2015年から開催。

<2022年度の状況（第7回大会）>

開催日程：2022年4月9日（土）、10日（日）

※ 競技開催日は10日（日）

※ 大会の魅力向上のため、コースの一部を変更
（コース）

茶臼山高原から新城市門谷地区までの約70km

累計標高差（登りの高さの合計）約4,000m

（出走者数）

609人（32都道府県） 完走者339人、完走率55.7%

（観戦者数）

※感染防止対策のため、沿道等での応援の自粛を要請



奥三河パワートレイル
（スタート）

<県の取組>

- ・エイドでの奥三河の特産品の提供
- ・奥三河の木材を活用した完走賞、副賞トロフィーの制作
- ・SNS等を活用した大会や奥三河の魅力のPR など

<今後の課題>

- ・コースの見直し
- ・大会運営に係る市町村の負担軽減

<次回大会（予定）>

2023年9月30日（土）～10月1日（日）

※ 統一地方選挙への対応等のため、開催時期を秋に変更。



野うさぎをモチーフにした
トロフィー

2 アイアンマン 70.3

アイアンマンレースは、一人の競技者が水泳、自転車、ランニングの3種目を連続して行うトライアスロンの世界的なシリーズ戦。

2010年から「アイアンマン 70.3 セントレア知多半島ジャパン」を開催（2022年度は新型コロナの影響により開催見送り、当面休止。）。

2023年6月に「アイアンマン 70.3 東三河ジャパン in 渥美半島」の第1回大会を田原市、豊橋市において開催することを決定（2023年1月）。

<アイアンマン 70.3 東三河ジャパン in 渥美半島概要>

開催日程：2023年6月8日（木）～11日（日） ※競技開催日は10日（日）

（主催）アイアンマン 70.3 東三河ジャパン in 渥美半島実行委員会

（愛知県、田原市、豊橋市、田原市商工会、渥美商工会、豊橋商工会議所、
（一社）渥美半島観光ビューロー、（一社）豊橋観光コンベンション協会、
田原市スポーツ協会、（公財）豊橋市スポーツ協会、
（一社）愛知県トライアスロン協会、（一財）東三河スポーツ地域振興財団）

(コース)

田原市、豊橋市 合計約 113.1km (スイム 1.9km、バイク 90.1km、ラン 21.1km)

(募集定員)

2,000 人

<今後の課題>

- ・ 県警本部や道路管理者等の調整
 - ・ 大会 P R や広報
 - ・ ボランティア募集の協力
- など

3 F I A 世界ラリー選手権 (WRC) ラリージャパン

WRC は、国際自動車連盟 (F I A) が 1973 年に創設したラリー競技の最高峰に位置する世界選手権。F 1 と同様の人気を誇り、2022 年は欧州を中心に世界で 13 戦開催され、最終戦を 11 月に愛知・岐阜にて開催。

ラリージャパン 2022 大会は、2010 年に北海道で開催されて以来、12 年ぶりの国内開催。2023 年大会から豊田市が主催となり開催。

<2022 年度の状況>

開催日程：2022 年 11 月 10 日 (木) ~13 日 (日)

(観戦者数)

約 11 万 2 千人 ※リエゾンでの沿道観戦者数を除く

(参加台数)

36 台

(開催場所)

豊田スタジアム及び周辺自治体の一般公道・林道・農道

(競技開催自治体：岡崎市・豊田市・新城市・設楽町・中津川市・恵那市)

サービスパーク：豊田スタジアム

(興行主体)

ラリージャパン 2022 実行委員会 ((株)サンズ、(株)電通、愛知県、岐阜県)

(協力)

ラリージャパン 2022 関係市町支援委員会 (上記競技開催自治体)

<県の取組>

- ・ 大会情報等を掲載した観戦・観光ガイドブックの発行
 - ・ パブリックビューイングイベント (中部電力 MIRAITOWER) の開催
 - ・ ラリーカー展示及び大会 PR (JR 名古屋駅中央コンコース)
 - ・ 名古屋駅、中部国際空港でのデジタルサイネージ広告
 - ・ 学生を対象としたサービスパーク見学会の実施
 - ・ 優勝者等へ知事杯、あいちの花で作った花束の贈呈
 - ・ 会場における P R ブースの設置
- など

<次回大会 (予定) >

2023 年 11 月 16 日 (木) ~19 日 (日)

※2023 大会は、愛知県は関係自治体連携会議に参画し支援

<今後の課題>

- ・ より多くの観戦者を受け入れるための観戦エリアの拡充
- ・ 開催地域以外での機運醸成・盛り上げ



ラリージャパン 2022 優勝セレモニー



パブリックビューイング
イベントの様子

4 新城ラリー

国内最高峰のラリー競技である全日本ラリー選手権の1戦。
新城市がアウトドアスポーツのまちづくりを推進する
イベントの一つとして、2004年から開催。

<2022年度の状況>

2023年3月3日（金）～5日（日）

※ 競技開催日は4日（土）、5日（日）

<前回開催>

2022年3月19日（土）、20日（日）

（出場台数）53台

（観戦者数）新型コロナの影響により、無観客で開催

<県の取組>

- ・2013年から県営新城総合公園をメイン会場として提供
- ・鬼久保スペシャルステージ（SS）などにおける大会の様子をライブ配信
- ・大会情報を掲載した観戦ガイドの発行
- ・優勝したドライバー・コドライバー（ナビゲーター）に知事杯、あいちの花で作った花束の贈呈 など

<今後の課題>

- ・開催地域以外での機運醸成・盛り上げ
- ・観戦客数を新型コロナ拡大前の水準まで回復



スタート風景
（県営新城総合公園）



知事杯、あいちの花の贈呈

5 マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知

世界最大の女子マラソンである名古屋ウィメンズマラソン、名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン、名古屋シティマラソンで構成される大会。

2014年からは、競技用車いす（レーサー）による女性のみホイールチェアマラソンも併せて開催。

2023年大会は節目となる10回目の開催となる。

<2022年度の状況（第12回大会）>

2023年3月10日（金）～12日（日）

【選手募集定員】

ウィメンズマラソン	22,000人
ホイールチェアマラソン	若干名
シティマラソン	13,000人

<前回開催（第11回大会）>

2022年3月11日（金）～13日（日）

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、参加するランナー全員に対してPCR検査による陰性結果の提示を求めるとともに、オンラインマラソンへの移行も受付ける形で開催。



名古屋ウィメンズマラソン



名古屋ウィメンズ
ホイールチェアマラソン

(出走者数)

- ・名古屋ウィメンズマラソン : 8,698人※
- ・名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン : 10人
- ・名古屋シティマラソン : 7,476人※

※ オンラインを除く

(観戦者数等)

マラソンEXPO : 65,247人 (3日間計)

沿道観戦者 : 約4.5万人



ビクトリーブーケの贈呈
(ウィメンズマラソン表彰式)

< 県の取組 >

- ・マラソンEXPOにおける愛知の特産品・観光地のPR
- ・あいちの花のPR (フィニッシュレーンの装飾、優勝者等へのビクトリーブーケの贈呈など)
- ・エイドでの愛知の特産品の提供
- ・名古屋駅等における大会PR
- ・ホイールチェアマラソン10周年記念リーフレット等の作成
- ・ホイールチェアマラソンなど大会のライブ配信など



マラソンEXPOの
愛知県ブース

< 今後の課題 >

- ・ホイールチェアマラソンの参加者数は少しずつ増加しているものの、まだ競技人口が少ないため、継続的な参加者の確保に向けた取組
- ・参加者数 (特に海外からの参加者数) を新型コロナ拡大前の水準まで回復